

## 4 部活動

### 4. 1 地学部

#### (1) 概要

33名の部員でSSH本体枠の活動、重点枠に関する活動、天文普及に関わる活動を意欲的に行った。多数の学会・研究会にも参加している。

#### (2) 活動内容

##### ア 学会・科学コンテスト・研究会での発表

- ・地球惑星科学連合2015大会 高校生によるポスター発表（幕張メッセ）
- ・天文教育普及研究会中部支部 口頭発表（半田市民会館）
- ・天文高校生集まれ！ 口頭・ポスター発表（大阪教育大学）
- ・東海地区SSHフェスタ2015 ポスター発表（名城大学）
- ・SSH生徒研究発表会 口頭・ポスター発表（インテック大阪）
- ・星食共同観測研修会（豊田西高校・時習館高校） 重点枠3. 1 参照
- ・夜空の明るさに関する課題研究発表会（i-ビル） 重点枠3. 2 参照
- ・SSH課題研究交流会 ポスター発表（名古屋大学）
- ・AITサイエンス大賞 口頭・ポスター発表（愛知工業大学）優秀賞
- ・光害シンポジウム ポスター発表（東洋大学）
- ・科学三昧inあいち2015 口頭・ポスター発表（岡崎カンファレンスセンター）
- ・高文連自然科学部研究発表会 展示発表（名古屋市科学館）
- ・日本天文学会ジュニアセッション口頭・ポスター発表（首都大学東京）



投影機改良後のプラネタリウム



ワークショップで作成したGIGASTARの星空

##### イ 研究活動の内容・方法

夜空の明るさ調査で周辺の街灯の光を拾い、正しい測定ができない問題を一宮市立向山小学校の児童と連携して機材のフードづくりに取り組んだ。また、一昨年度自作したプラネタリウムドームの投影機を改造して、一般公開や駅前観望会の活動にも取り組み、AITサイエンス大賞他で発表した。NPO法人「GIGASTAR®」との連携事業を進め、サイエンスアゴラの基礎データ作成とバックライト作成作業をサポートした。

また、昨年部員達が出演したNHKBS番組「宇宙遺産100」がDVDになって販売されたり、ベネッセの冊子「VIEW21」に生徒の活動が紹介された。（巻末参照）

#### (3) 検証（成果と反省）

今年度は合宿や観測ではあまり天候に恵まれず、準備不足からの失敗もあり多くのデータは得られなかったが、地道な天文普及活動から科学コンテスト等ではまずまずの評価をいただいた。また、充実した連携活動を通して科学リテラシーを高め、生徒自身が考えてまとめた結果を他人に伝えるという活動を経て、生徒のコミュニケーション力・協調性などの総合人間力を高める効果がみられた。